

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

2021. 11. 2

No.137

愛知県病院事業庁職員組合

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1

愛知県東大手庁舎内

電話(052)212-8031 FAX(フアックス)0120-930-340

メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

発行責任者 安藤京一

病院組合ニュース

職場要求書提出

統一要求

10月15日、病院事業庁交渉を行い、「令和4年度当初予算計画に関する要求書」を病院事業庁へ提出し、統一要求の趣旨説明、各分会からの個別要求の説明を行い、現場の切実なる願いを病院事業庁へ伝えました。統一要求の回答は11月中旬、個別要求の回答は1月下旬の予定です。



日高管理課長(左)に要求書を提出する安藤執行委員長

組合アンケートや各分会委員会が出された現場の声を集約し、統一要求で重点的に説明した内容の一部は次のとおりです。

○年度途中の産休・育休等に伴う代替職員の速やかな配置及び男性の育児参加環境促進のため、年度当初からの過員配

産休者等に伴う人員不足が生じると他の職員の負担が増え、産休者等が多数いる職場では業務の維持が困難の状況になっている。代替職員の確保に努めるよう求める。

○看護師長を課長補佐級の区分とすること

課長補佐級の主任看護師長と主査級の看護師長とは兼務の内容が異なるが、病院事業庁は説明をするが、20名〜30名程度のスタッフ

を管理する業務に差はない。他の職種では班長の職務は課長補佐級以上の区分となっており、班長業務を行う看護師については、班長の職務は課長補佐級とするように求める。

○コロナ感染者受け入れ病棟の調整数を愛知県院と同等に

精神医療センターや小児センターでも愛知県院と同じくコロナ感染者を受け入れているが、調整数に差がある(愛知県院看護師・調整数「5」、精神看護師「1.5」、小児看護師「1.5」、小児看護師「1」)ことは整合性を欠く。

○手術室看護師に危険手当の支給

手術室で勤務する看護師は専門的なスキルが必要となるうえ、血液暴露や針刺し事故、器械での事故など、危険にさらされる可能性

が高い。また最近は感染症にもより注意を払わないといけないが、感染症の患者でも感染症でない患者と同様の刃物の取扱いをしなければならず、血液に暴露されるリスクが付きまとう。

○小児センターの臨床工学技士に待機手当の支給

小児センターの臨床工学技士は、緊急の業務に対応できるように休日オンコール体制をとっている。休日出勤後は代休等の処置もできないほどの人員不足でもあり、小児センターでも待機手当が認められている部署があるため、臨床工学技士も待機手当を要求する。

なお、個別要求で小児センターの臨床工学技士の増員を要求しており、人員の増員要求が第一希望である。

○小児センターの薬剤師に特殊勤務手当の支給

小児センターでは、患者の特性から錠剤やカプセル剤がほとんど内服できないため、散剤や錠剤の粉砕による調剤が中心となつている。特に、発がん性や催奇形性がある錠剤の粉砕等が日常的に行われており、健康被害のリスクも高くなつている。また、このような薬剤の曝露対策のため、職業性曝露対策ガイドラインも作成されている。

なお、小児センターより設備の整つているがんセンターでは、抗がん剤調製時の特殊勤務手当が支給されている。

○ハラスメント対策について必要な体制の整備

令和2年6月より、事業主には職場におけ

るハラスメント防止措置を講じることが義務化された。各病院も例外ではなく、上司や同僚のハラスメントを訴える職員が増加傾向にある。現在、各病院の看護部の相談窓口としては、人事労務管理副部长、事務の担当、事業庁の人事担当の3つがあるが、職員に周知されていない現状がある。また、各窓口をハールドルが高いと感じる職員や、内部の職員には相談しづらいと感じる職員もいる。今後、ますます職員のハラスメントに関する意識は高まると思われる、相談しやすい窓口の設置と職員への周知を行い、相談のあった場合に適切に対応ができる体制を求める。

なお、他県では第三者に相談窓口を委託している事例もある。

個別要求

個別要求で、各分会が説明した項目の一部は次のとおりです。

●がんセンター

- ・7対1看護体制維持
- ・休んでいる職員がいるため、余裕のある人員配置を求める。
- ・適切な温度管理のため空調を整備すること

施設の老朽化、感染対策における換気などから、適切な温度管理ができておらず、患者さんからも苦情が出ている。

- ・排尿ケア専従者の定数化
- ・栄養士1名の増員
- ・医療安全改革実行プランの推進のため薬剤師4名仮配置の継続
- ・治験文書保管管理業務の外部委託
- ・放射線技師室の個別空調の整備
- ・厨房内の冷却設備の改修

●精神医療センター

- ・公用車の更新

20年以上使用している公用車があり、安全のため更新を希望する。

●小児センター

- ・薬剤師と栄養士の調整数「0.5」の要求
- ・精神医療センターは、精神科という特殊な状況下で勤務を行っており、他病院に比べて調整数が「+0.5」されているため、薬剤師等も同様の調整数措置を求める。
- ・外来職員の増員

採血等の処置が増加しており、加えて予約業務、救急対応等で外来業務は多岐に渡るため人員が不足している。

- ・東1病棟の2・3・8配置の定数化
- ・西3病棟の3・3・8配置の定数化
- ・薬剤師を4名へ増員
- ・精神保健福祉士を2名に増員すること
- ・タクシー代の全額負担

●小児センター

- ・臨床工学技士の2名増員

PICUや病棟での補助人工心臓管理業務とともに、心臓外科手術の並列施行の業務があるため人員が必要。

- ・手術室看護師の増員
- ・言語聴覚士の定数増
- ・臨床検査技師の正規職員2名の増員
- ・MSW1名増員
- ・病棟保育士1名配置

36協定の一日上限7時間を超えることもあり、また連続19時間勤務となつてしまったスタッフが数名いる現状。今後も人員不足は同様

であり、これは職員の労働安全上の問題もある。また、臓器移植提供施設に認定されたが、人員に全く余裕がない

公 示

愛病組選管公示第2021-6-1号

2021年11月9日執行の愛知県病院事業庁職員組合2022年度役員補選は、同年10月27日に立候補の受付を締め切ったところ、候補者が定数を超えなかったことから、愛知県病院事業庁職員組合選管および投票管理に関する規則第22条第3項の規定に基づき、次の者を無投票当選とする。

2021年10月29日

愛知県病院事業庁職員組合
選挙管理委員会委員長 岡田 さゆり
(公印省略)

職 名	氏 名	所 属
監 査 委 員	宮 町 優 子	(新) 精神医療センター分会

※2022年度役員予定者に辞退があったための補充選挙です

2022年度病院組合役員補充選挙結果公示